

## 新型コロナと複合災害 その時、どうする？

5月6日1時57分の緊急地震速報ではビックリされ、跳ね起きた方も多いと思います。千葉県北西部を震源としたM5.0、お隣の旭区大池町（こども自然公園）で震度2でした。最近 は千葉県北東部（4日、M5.5）や長野県中部では4月下旬以降多発し続けています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大・防止策が継続する中で、首都直下型地震、南海トラフ大地震はいつ起きても、と言われていています。また、6月以降は風水害発生（梅雨と台風）時期が迫っており、引き続き油断ができません。

については、新型コロナとの複合災害時をイメージいただき、それぞれのご家庭で対策・対応をお願いします。

参考1. 内閣府、消防庁、厚労省の連名で「避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について」（4月7日）、新型コロナに関して各都道府県の関係部署に出状されたものですので、ご参考に。

1. 可能な限り多くの避難所の開設
2. 親戚や友人の家等への避難の検討
3. 自宅療養者等の避難の検討
4. 避難者の健康状態の確認
5. 手洗い、咳エチケット等の基本的な対策の徹底
6. 避難所の衛生環境の確保
7. 十分な換気の実施、スペースの確保等
8. 避難者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合

参考2. 泉区「生活・防災マップ」（今年1月発行）からの抜粋です。

地震に  
備えま  
しよ  
う

- **食料・飲料水等**の備蓄を行いましょう。※備蓄の目安は、**最低3日分**です。
- 家族との**連絡方法**を確認しましょう。
- 災害危険箇所や、**避難所等**の確認をしましょう。
- 自宅の**耐震化**や**家具転倒の防止**をしましょう。
- 消火器などの**消火用具**を準備しましょう。
- 避難時の**持出品**をすぐ持ち出せるようにしましょう。
- 職場などに**帰宅グッズ**を準備しましょう。
- 自治会・町内会や地域防災拠点などで行われる**防災訓練**に参加しましょう。
- いざという時となり近所で助け合うため、**顔の見える関係**をつくりましょう。
- 高齢者・障害者などの**災害時要援護者**を地域で見守るようにしましょう。